

## 「静岡市ひとり親家庭等自立促進計画」策定に向けたアンケート調査について

## 1 調査の目的

母子家庭、父子家庭及び寡婦の生活実態やサービスニーズ等を把握することで、次期「子ども・子育て・若者プラン」の策定作業に合わせ基礎資料を得るため。

## 2 調査の概要

## (1) 調査期間

- ・令和7年11月1日から令和7年11月30日まで

## (2) 調査項目

- ・家族、住まい、仕事、家計、制度の認知度・利用意向について 15 ページ 35 問

## (3) 調査対象

合計 1,000 人

- ・児童扶養手当受給者から無作為抽出 960 人
- ・寡婦分については、静岡市母子寡婦福祉会から配布 40 人
- ・令和7年10月8日以降の児童扶養手当新規申請者は対象外

## (4) 調査方法

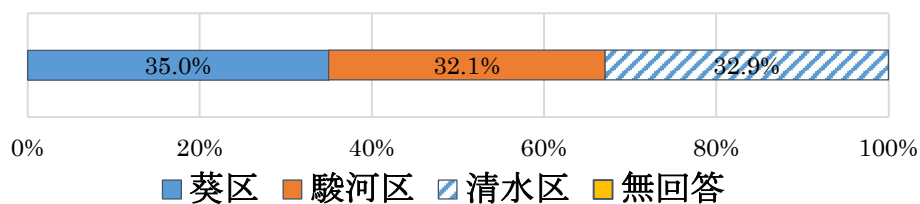
- ・郵送配布、オンライン回収

## (5) 回答者

- ・489人：48.9%（前回H30：50.5% 前々回H25：48.8%）

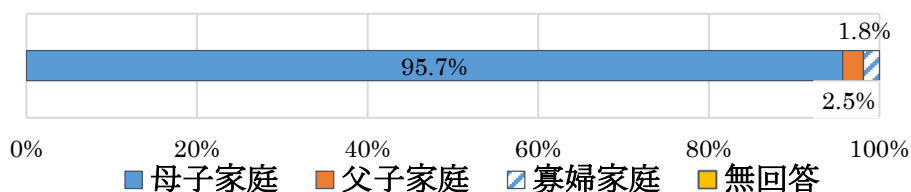
## 3 アンケート結果（速報値）

Q1 あなたのお住まいの区は、次のどれですか。



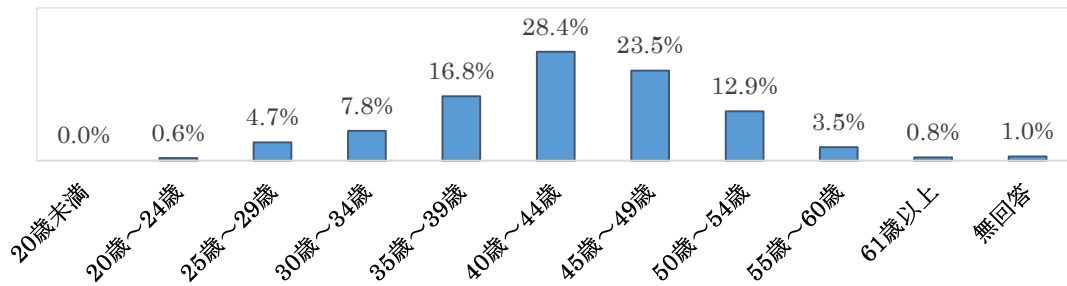
回答者は「葵区在住」35.0%、「駿河区在住」32.1%、「清水区在住」32.9%となっている。

Q2 あなたの世帯は、次のどれですか。



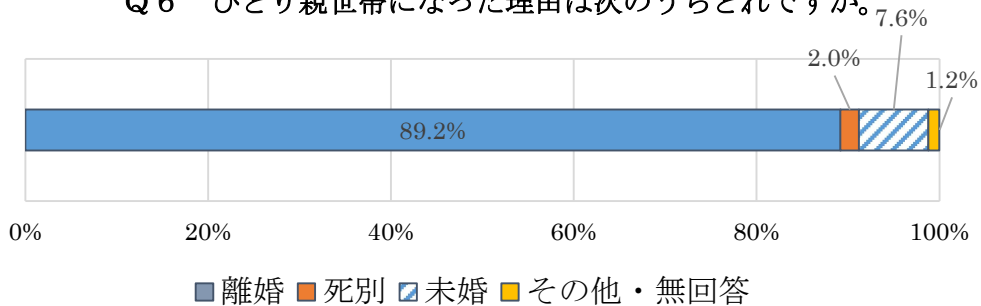
回答者の世帯は、「母子家庭」95.7%、「父子家庭」2.5%、「寡婦家庭」1.8%となっている。

Q3 あなたの現在の年齢は、次のどれですか。



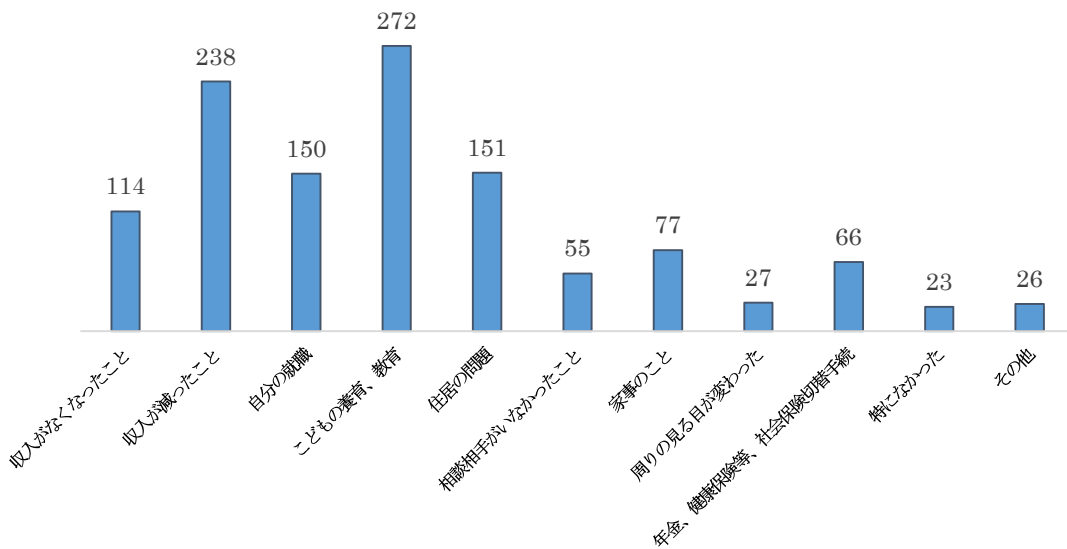
回答者の年齢は、30代、40代で合計76.5%を占める。

Q6 ひとり親世帯になった理由は次のうちどれですか。

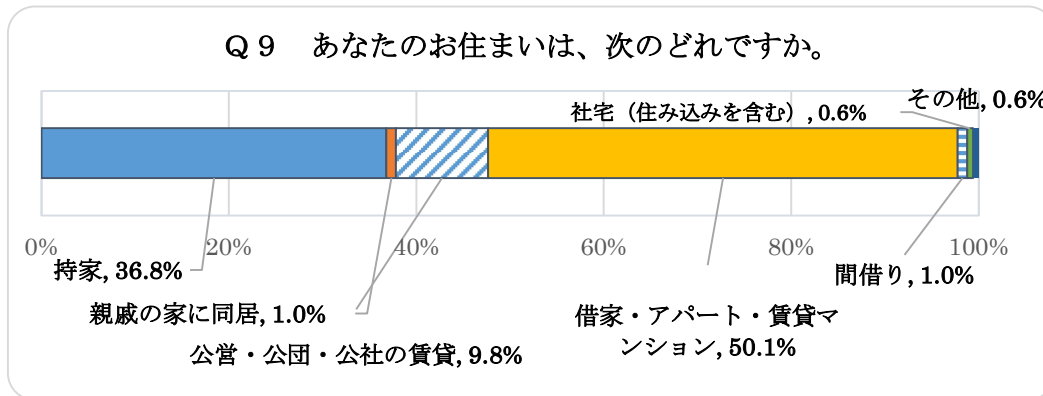


ひとり親世帯になった理由については、「離婚」が89.2%、「死別」が2.0%、「未婚」が7.6%などとなっている。

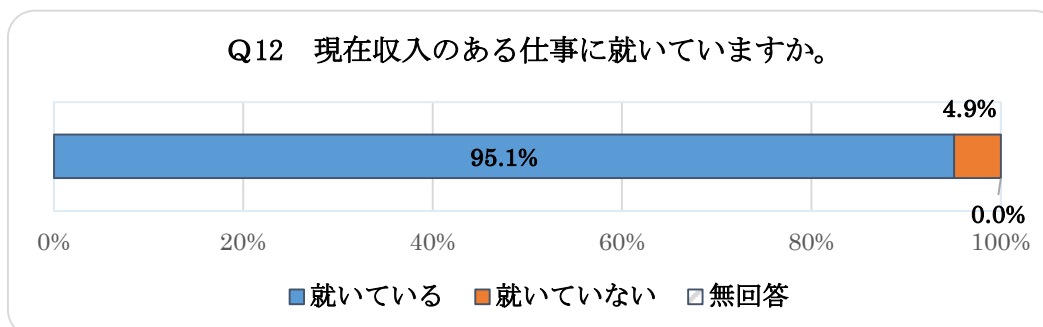
Q8 ひとり親世帯となった当時、それまでと比べてお困りになったことがありましたか。主なものを3つ以内でお答えください。  
(単位：件数) (全体：n=489)



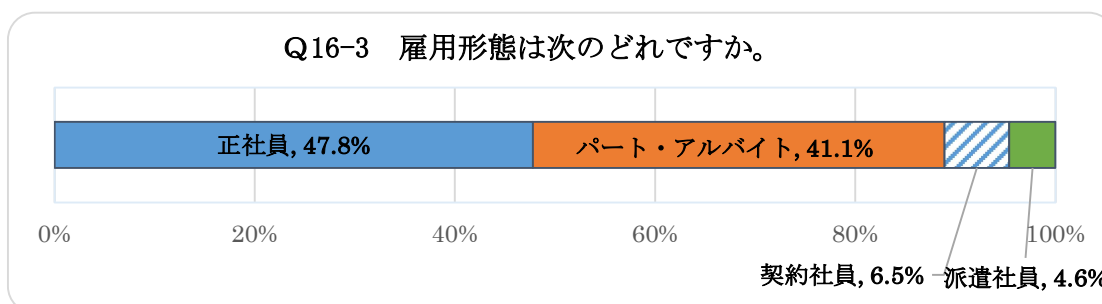
ひとり親世帯となった当時困ったことは、「こどもの養育、教育」が272件で最も多いが、「収入が減ったこと」及び「収入がなくなったこと」を合計すると352件となり、経済的に困っていたことがうかがえる。



住まいについては、「借家・アパート・賃貸マンション」が50.1%、「持家」が36.8%などとなっている。

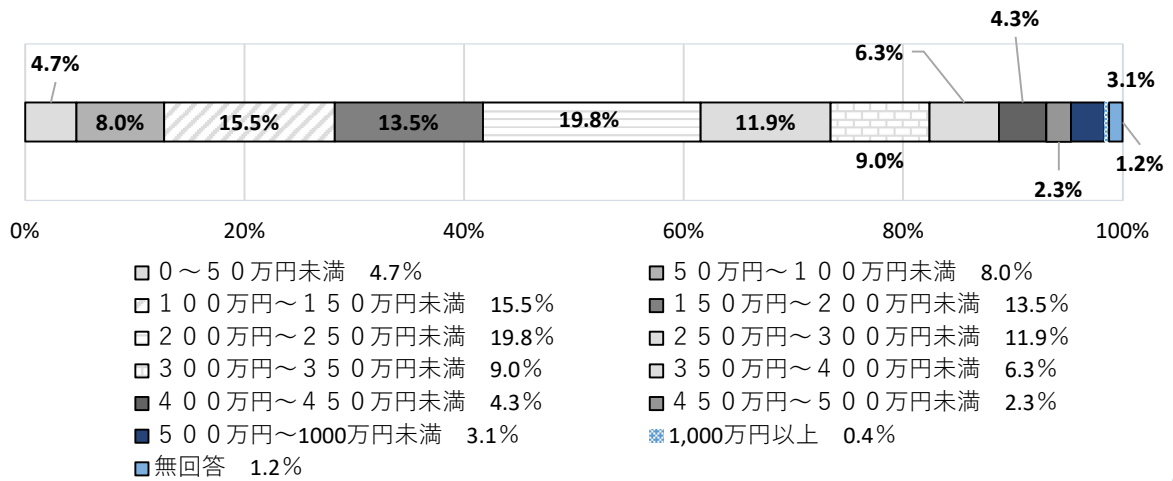


就労状況については、「就労している」が95.1%で、前回調査(91.9%)に比べ、3.2%増加している。



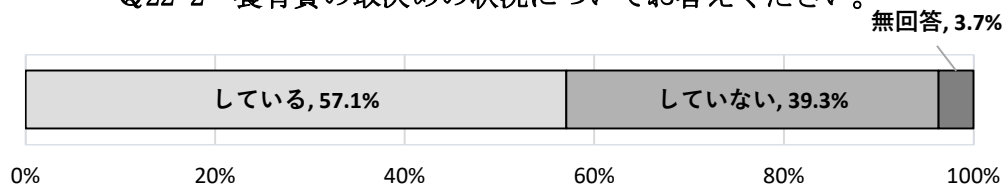
現行プランの指標として設定した「ひとり親家庭の親の正規就業率」は、前回調査38.8%から47.8%に改善している。

Q21 あなたの世帯の令和6年1月1日から令和6年12月31日までの1年間の収入はいくらですか。



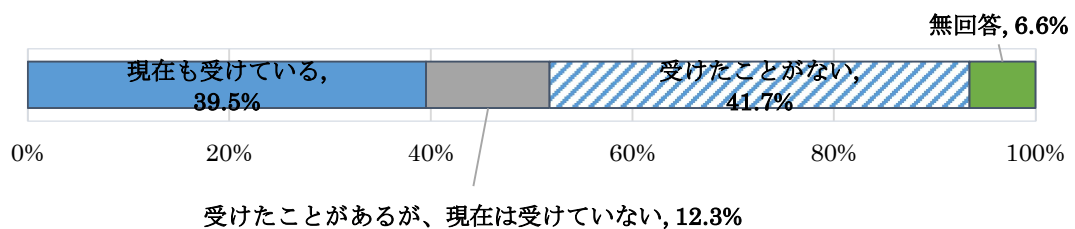
年間の収入については、「200万円から250万円未満」が19.8%、「100万円から150万円未満」が15.5%、「150万円から200万円未満」が13.5%などで、全体の82.4%が350万円未満となっている。

Q22-2 養育費の取決めの状況についてお答えください。



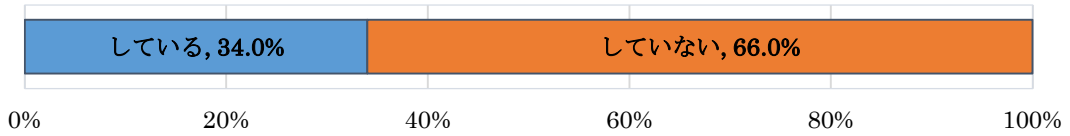
養育費の取決めの状況については、「取決めをしている」が57.1%となり、前回調査(51.2%)より5.9%増加している。

Q22-5 あなたの離別した相手からのお子さんへの養育費の受給の状況についてお答えください。



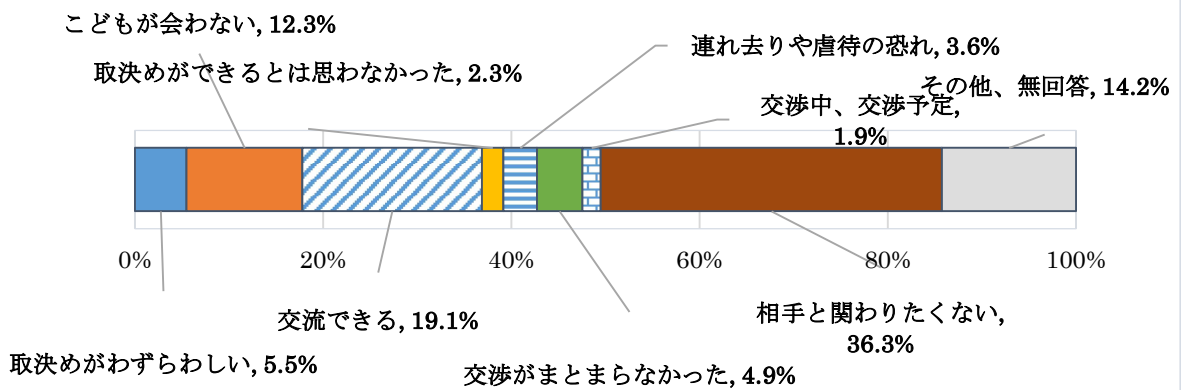
養育費の受給状況については、「現在も受けている」が39.5%となり、前回調査(31.3%)より8.2%増加している。

Q23-1 面会交流の取決めの状況についてお答えください。



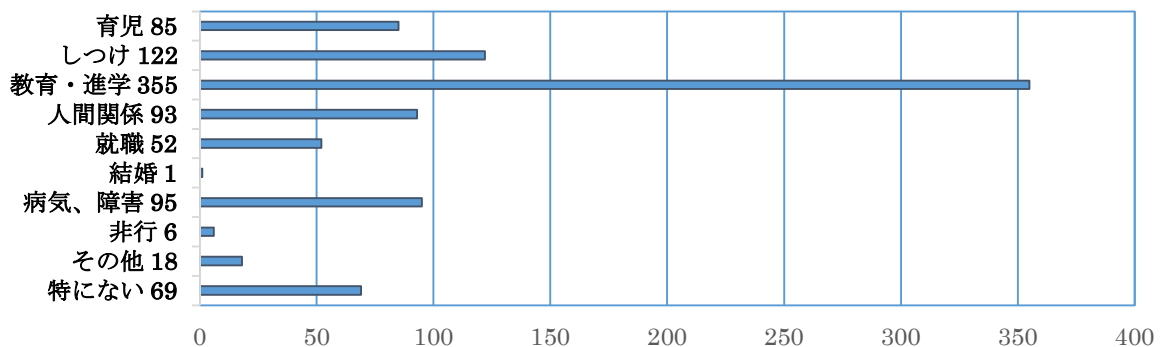
面会交流の取決め状況については、「取決めをしている」が34.0%となり、前回調査(26.4%)より7.6%増加している。

Q23-4 面会交流の取決めをしていない理由は何ですか。

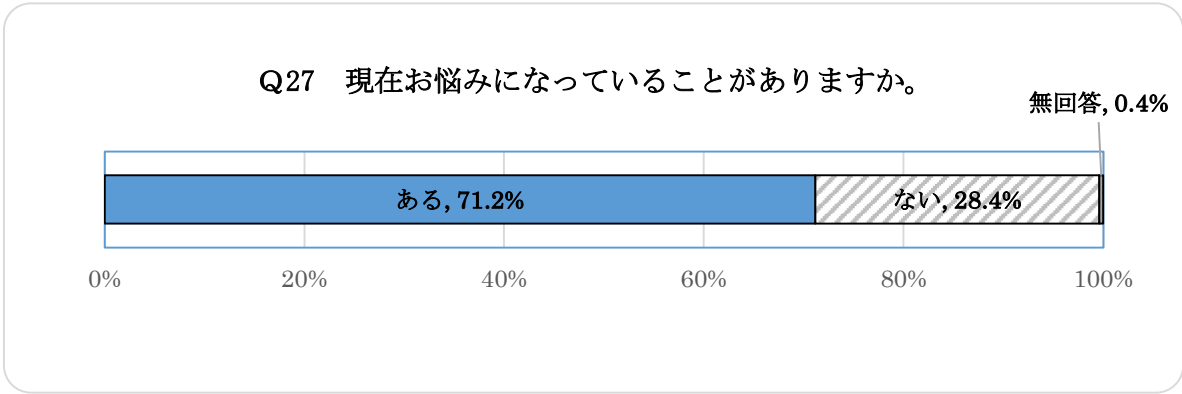


面会交流の取決めをしない理由は、「相手と関わりたくない」が36.3%、「取決めしなくても交流できる」が19.1%などとなっている。

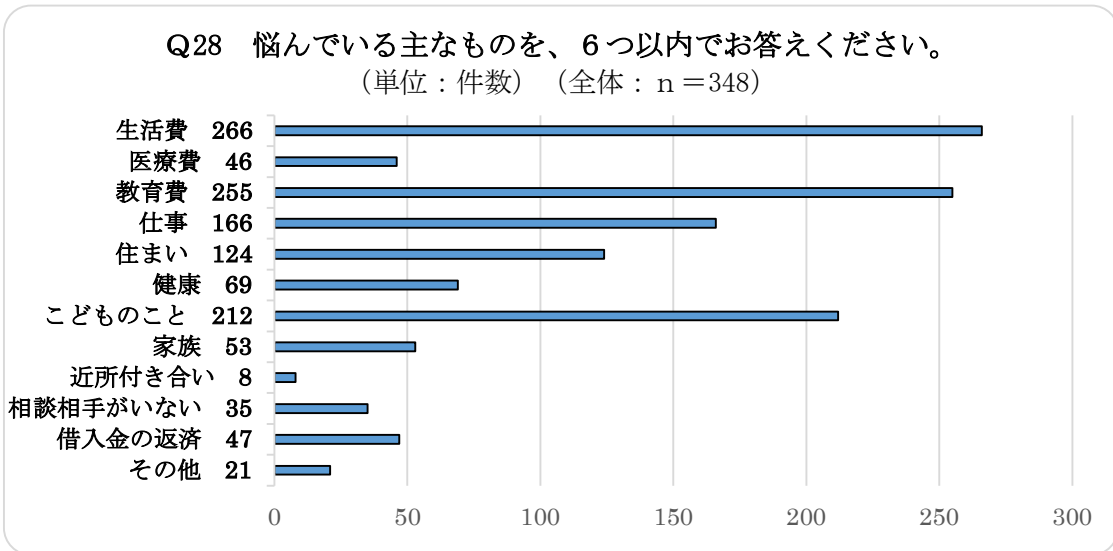
Q24 お子さんについて何かお悩みになっていることはありますか。主なものを3つ以内でお答えください。(単位：件数)(全体：n=489)



お子さんについての悩みについては、教育・進学が355件と最も多い。

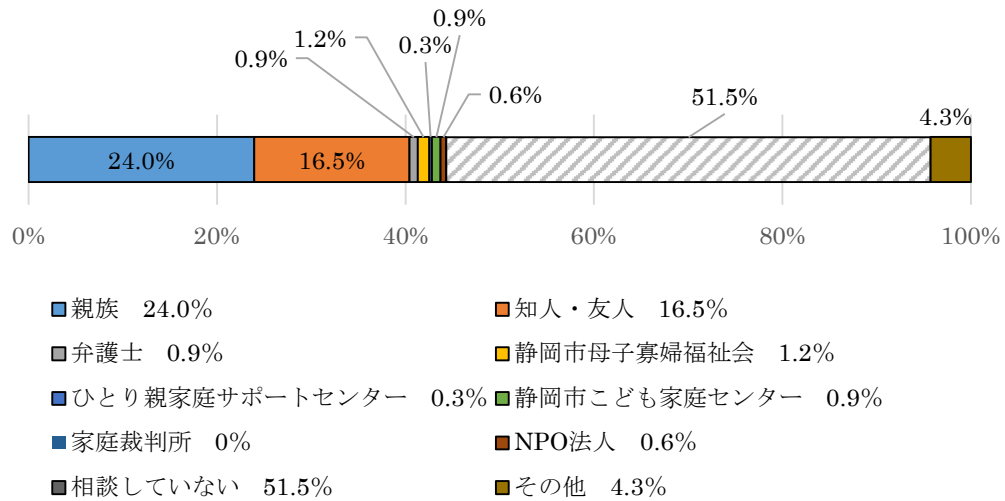


現在悩んでいることが「ある」と回答した割合は71.2%で、前回調査（76.8%）より5.6%減少している。



ひとり親家庭の悩みについては、「生活費」が266件数と最も多く、次いで「教育費」が255件、「こどものこと」が212件などとなっている。

Q29 だれか、どこかに相談しましたか。



相談相手は、「親族」が24.0%、「知人・友人」が16.5%、「行政関係の相談（静岡県こども家庭センター、静岡県母子寡婦福祉会及びひとり親サポートセンター）」が合計2.4%となっているが、「相談していない」割合が51.5%と最も多い。

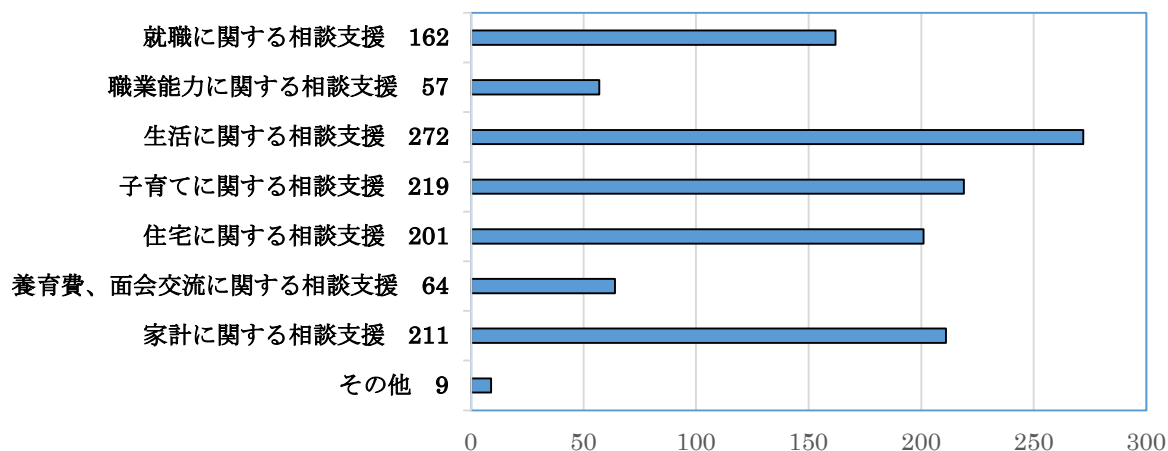
Q31 各制度について：児童扶養手当			
認知度、利用状況	利用している又は利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らなかった
	94.5%	3.7%	1.8%
必要性	もっと充実してほしい	このままで良い	廃止又は縮小すべき
	86.3%	12.3%	1.4%
利用意向	今後も引き続き利用する	今後利用したい	利用するつもりはない又は利用できない
	82.8%	6.3%	10.8%

児童扶養手当の必要性については、「もっと充実してほしい」が86.3%となっている。

Q31 各制度について：養育費相談、面会交流支援事業			
認知度、利用状況	利用している又は利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らなかった
	11.5%	22.5%	66.1%
必要性	もっと充実してほしい	このままで良い	廃止又は縮小すべき
	42.5%	48.7%	8.8%
利用意向	今後も引き続き利用する	今後利用したい	利用するつもりはない又は利用できない
	11.9%	29.0%	59.1%

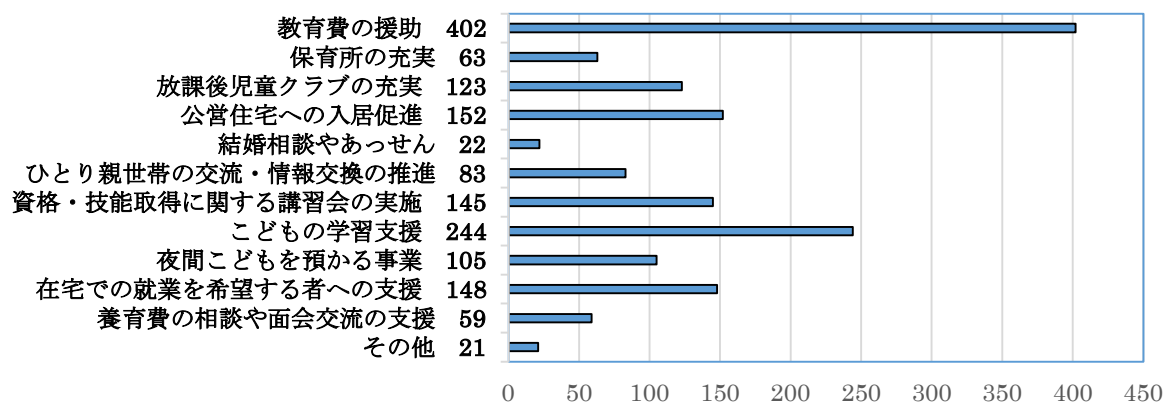
養育費相談、面会交流支援事業についての認知度は、「知らなかった」が66.1%となっている。

Q32 相談・支援事業の内容で期待することについて、主なものを3つ以内でお答えください。（単位：件数）（全体：n=489）



相談・支援事業の内容で期待することは、「生活に関する相談支援」が272件、「子育てに関する相談支援」が219件、「家計に関する相談支援」が211件、「住宅に関する相談支援」が201件などとなっている。

Q33 市等の施策で今後希望することを6つ以内でお答えください。（単位：件数）（全体：n=489）



市等の施策で今後希望することは、「教育費の援助」が402件と最も多く、次いで「こどもの学習支援」が244件などとなっている。

#### 4 今後の進め方

ひとり親家庭等の自立支援のため、今後クロス集計を含めた詳細分析を行い、次期プラン策定に向けて検討を進める。